

～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

「学びの部屋」(岩手県陸前高田市、大船渡市等)

取組の概要

○大学・民間団体等との連携により、小学校・中学校、仮設住宅等を活用して「学びの部屋」を設け、放課後や週末等の学習支援を行うとともに、保護者向け研修会、地域支援人材向けワークショップ等を通じて、地域の再構築を図る。



「学びの部屋」とは、子どもたちが安心して過ごせる三間(サンマ)を提供する場所です。

「三間」とは・・・

- ◆空間:「学びの場」として安全・安心な教室。
- ◆時間:平日の放課後や土・日曜日の終日、週3～6日の学習時間を確保。
- ◆仲間:一緒に学ぶ仲間だけでなく、教育現場の経験を持つ学習サポーター、日曜日には若さと元気いっぱいの大学生・・・心強い仲間がサポートしています。「学生らが主体」となり学習指導をするなどの活動を展開することがポイント。



そして、4つめの間も。

- ◆すき間:勉強の合間の休憩時間や、ちょっと教室を出てボーっとする空間など・・・

支援員の感想

「学びの部屋」で過ごすことで、自分自身の夢や将来の姿を描きなおすことができ、学力向上や進学のために必要な「ヤル気」へとつながっています。夢の実現のために必要な勉強は、自学自習を基本としながら、確実にサポートするおとなの存在があり、入試合格や英検合格という成果をあげています。

また、何気ない対話の中から、個別に抱える生活課題等も顕在化し、心のケアの機会にもなっています。

この「学びの部屋」にはいろんな事情を抱えた子どもがたくさん来ます。想像の範囲ですが震災をきっかけにして家族との会話が密になったのではないかと思います。

生徒や保護者から、継続して実施してほしいという声や、他の仮設住宅で開催してほしいという要望が出ています。

陸前高田市

＜陸前高田市立第一中学校の活用事例＞



個別学習室



完全個別学習室



グループ学習室

- 生徒の要望により、相談員や学生ボランティアと学ぶ「個別学習室」、「完全個別学習室」、「グループ学習室」に分かれて学ぶことができる。長期休みや受験準備期間には、開催日を増加して実施。

大船渡市

＜大船渡市立大立仮設住宅の活用事例＞



受験生用学習部屋



- 空き仮設住宅を利用し、学習支援相談員や大学生による学習や進路相談、悩みなどのサポートを実施。

＜大船渡市立越喜地区仮設住宅の集会所(談話室)の活用事例＞



- 大学ボランティアのサポート受け宿題に取り組む小学生。宿題終了後には外で元気に遊ぶ。